

# 大野小学校における教育の情報化の推進

北斗市立大野小学校

佐々木 朗

## 0. はじめに

4月に本校に着任してはや1年が過ぎようとしている。私にとって今までの教職経験で一番大きな学校でもあり、着任して、職員の多さ、児童の多さに圧倒されていた4月であった。「一年はおとなしくしていよう。」などとほんの少しは最初の頃思っていて、年度当初の打ち合わせにおいても、「それはどういうことかなあ。(まあ、人の動きを見ながら仕事しよう。)」、「これは、コンピュータを使うともっと簡単にできるのになあ。(あえて人の仕事分野に首をつっこまなくてもいいか)」という具合に、じっと職員室で飛び交う話に耳を傾けながら、とにかく、学校の雰囲気慣れるようにしようと思っていた。

ところが、もうすぐ一年を迎えるに当たって、職員会議で一番しゃべっているのは、自分であるのは、自他共に認めるところである。

振り返ってみて「一年間はおとなしくしていよう。」という教員の心のどこかにある風習というか思いは、あまり良くないものではないかを感じるようになった。それぞれの先生がそれぞれの持ち味を生かして、学校を作っていく。いろんな先生方の奏でる音が重なり合って、大野小の美しいハーモニーとなるのであろう。そのハーモニーは、毎年変わるかもしれない。また、変わっていかねばならない。けれども、先生方の知恵と力とアイディアで奏でるハー

モニーは毎年毎年美しい音色を響かせるのである。

私の得意分野は、情報教育とりわけ児童への情報教育の指導、ネットワーク管理、そして、パソコンのなんでも修理屋である。また、中学校の英語の教員をやっていたことから、小学校英語も実践してみたい。そして、今受け持っている理科指導のスペシャリストでありたい。さらに、昨年度まで大学院に通わせていただいたこともあり、そこで得たものを学校現場に生かすことができるものは実践していこうという意欲で毎日過ごしている。

私が毎日毎日頭の中にある言葉は、前の西村教育局長の「現状維持は、むしろ後退である。」また、恥ずかしながら私の座右の銘として「人生はしてしまったことに悔いを残すのではなく、しなかったことに悔いをのこす。」という言葉の通り、とにかく、チャレンジ、チャレンジの自分でありたいと思っている。

このレポートにおいては、主に情報関係において、表に出してもいいかなあと思う部分について、大野小学校の現状を報告しながら、各学校の教育の情報化につながればという思いで、まとめた。

## 1. 大野小学校の概要

### (1) 学校の概要

平成13年度南校舎が落成し、正面は真新しい学校である。この新校舎と旧校舎の2棟

から成っている。児童数は 503 名、各学年 3 学級を中心に 19 学級となっている。職員は、30 名となっており、旧大野地区の中心



校である。

校区には農村部もあるが、新興住宅地として、新たに住居を構えた家庭も多い。

### (2) コンピュータ室の概要

コンピュータに関しては、非常に恵まれている部類に間違いなく入るはずである。WinXP が児童用に 40 台びしと入り、ブロードバンドでインターネットへも接続可能である。



さらに恵まれていることには、旧校舎も含めて全教室、体育館を含む全特別教室にも情報コンセントがあり、外へ出ることができる。

### (3) 職員室内のネットワーク

新校舎落成と共に、職員室内にも LAN が敷設され、LAN に参加しようとする全

職員にケーブルが届くようになっている。



全職員とまではいかないが、多くの先生はプリンタの共有をしており、それぞれの机の上にプリンタがあがっている現状はない。詳細は後で触れる。

## 2. 情報教育推進委員会がやってきたこと

大野小学校に着任してみると、私の分掌は、文化部の視聴覚担当と放送委員会であった。機械のメンテナンスや放送委員会は毎年やっていることで、まずは一安心。しかし、情報教育推進委員会の構成メンバーには私の名前はない。かと言ってスペシャリストばかりのメンバーかというところでもないような。ということで、私はまず、このメンバーに何とか入れてもらわなければ私のこの学校での仕事が始まらないと勝手に思い、教頭先生にお願いして、特別に入れていただいた。

その第一回の委員会で、私が「委員長やりませ。」と立候補し、見事一発で決まりました。それから、先生方に提案して通ったもの、そして没になったもの、あわせて、かなりの数のことを先生方に提案し、少しは大野小学校の教育の情報化、そして、児童への情報教育も進んできたかなあと思う。

情報教育対策委員会（自分では情報教育

対策委員会～自分では何か求められて対策を取っていくのではなく、自ら切り開いて推進していくものだと思っている)のやってきた主な業務である。

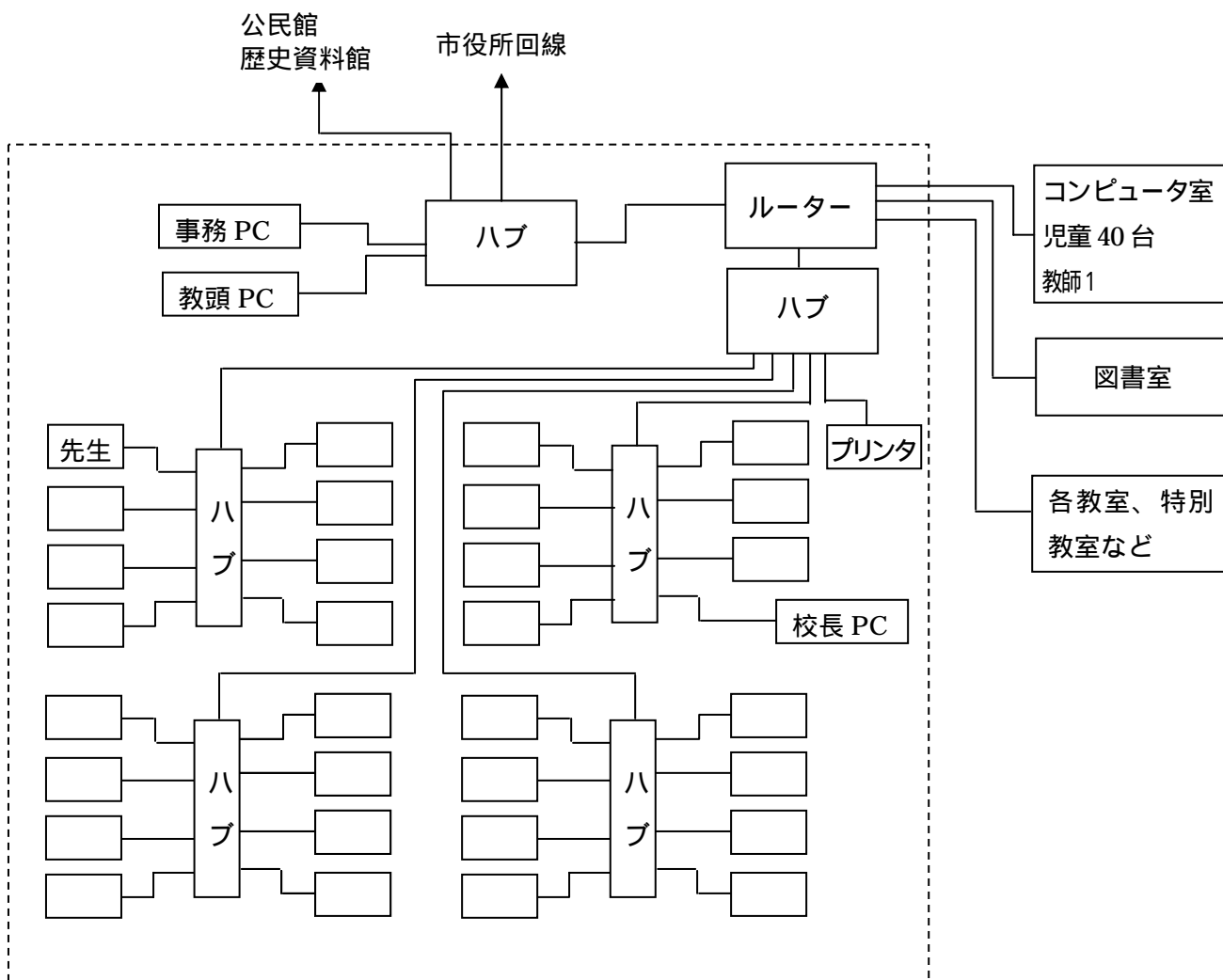
- 職員室LANの回線切り替え
- 職員室ファイルサーバーの設置
- 学校ホームページの開設
- ウイルス対策の推進
- 個人情報等のセキュリティーの向上
- 機器のメンテナンス・修繕
- 児童への情報教育の指導

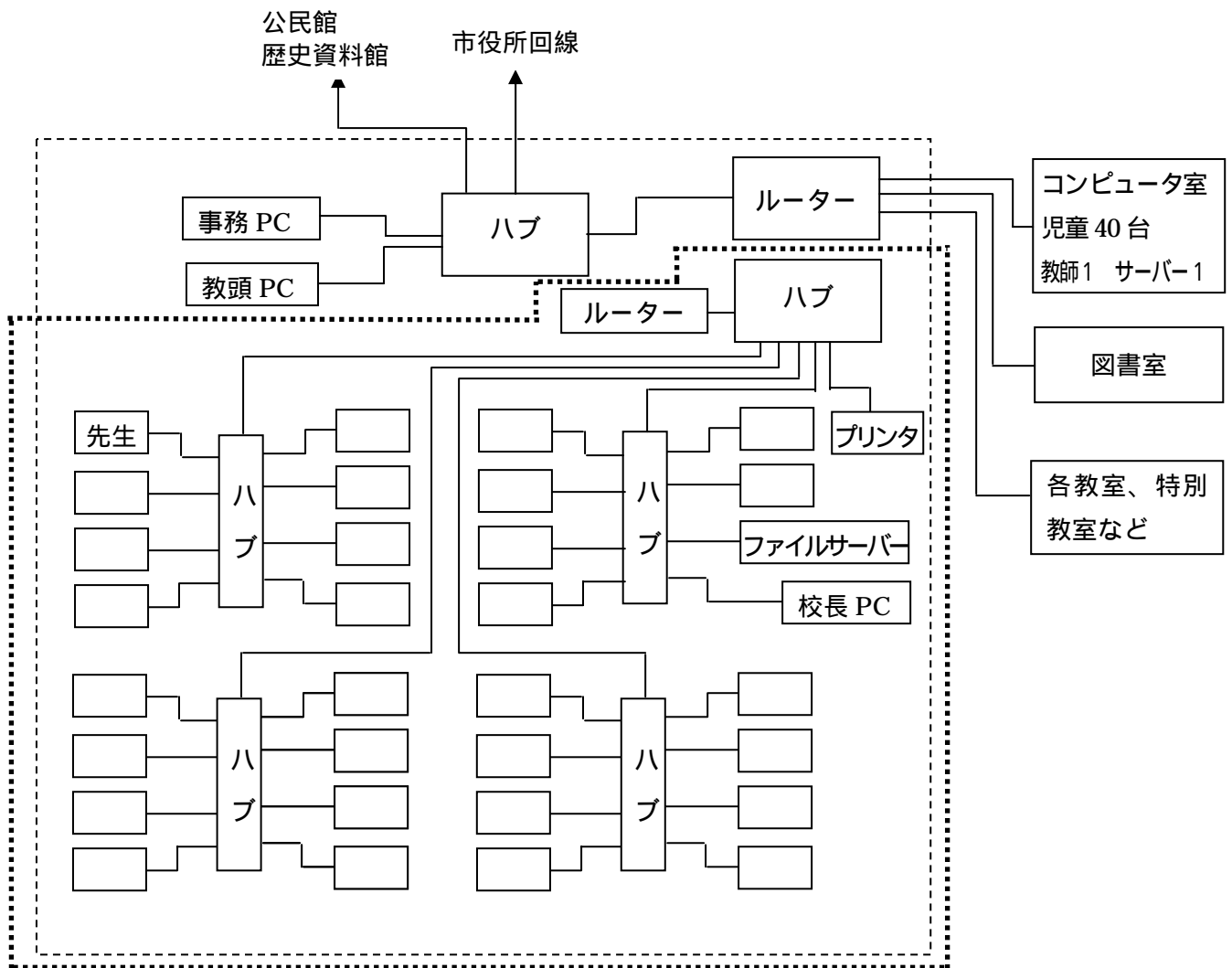
以下、順を追ってその具体的内容をまとめる。

### 3. 職員室LANの回線切り替え

本校のインターネット回線は、市分庁舎を通して市役所経由でつながっている。つまり市のサーバーを一度経由している。もともと旧上磯町も旧大野町も町の管理するネットワークに私物パソコンをつなぐことを禁じていたようである。また、にもかかわらず、旧上磯町はその規定の管理が厳しく、大野町はそうでもなかったようであり、職員室のLANから外回線へ出ることができ設定になっていた。

年度当初に、市の当局から本校に、ネットを市の回線から離すように指示が来た。そういう指示が来た以上は、学校としては





従い、情報教育推進委員会で検討し、職員室回線を全く独立させることとした。

上に示した2つの図のうち、前者が従前のもの、後者が現在のものである。後者で破線の部分が職員室内LANで、ご覧のように、外回線から全く分離している。従前より使っている各テーブルのハブをそのまま生かした。また、ルーターを新たに一つ付加し、IPを自動取得できるようにした。固定IPの方が安定はいいのであるが、家と職場の両方でネットワークにつなげている先生は、いちいち設定を変えなければならないこと、また従前も自動IP取得であったことから、この設定とした。このことによって、ネットワークシステムは大きく

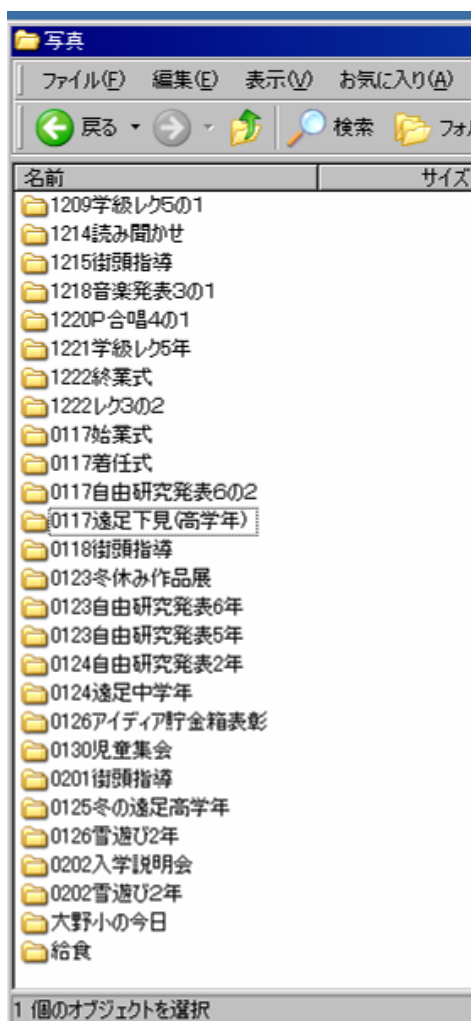
変わったが、コンピュータに詳しくない先生方にとっては、何の変化も気づかない状態で以前と全く同じ環境でネットワークに参加してもらうことができた。

また、新たな約束として、ネットワークに参加する先生は、必ず個人の責任でウィルス対策を行うことをお願いした。公務に関わらず、パソコンは自前で用意しなければならないことに加えて、ウィルス対策までもしなければならないということで、ためらう意見も根強かった。しかし、最終的に、先生方の了解を得ることができ、全てのコンピュータにウィルス対策をした上でネットワークに参加するシステムができあがった。

また、新たにネットワーク上にファイルサーバーを置いた。



このファイルサーバーは、図に示した通り、各分掌、担当ごとに大まかに私の方で割り振った。



手前味噌になるかもしれないが、写真フォルダには、一年間のスナップ写真が入っており、ほとんどの行事や催しについては、記録に残っている。

4月の分掌の引継ぎの時には、フロッピーディスクやCDで担当者が変わったものは引継ぎが行われていた。今後に向けて、ファイルサーバーを整備することによって、自分に関わる分掌、そうでない分掌について、全ての職員からネットワークにつなぐことによって確認できる状態を構築していく予定である。

私は前任校においても、この取り組みをしてきたが、ほぼ整理されるまでにおよそ3年を要した。コンピュータ=難しい、わけのわからない、というのがまだ先生方の間にないわけではない。したがって、共有フォルダの便利さ、効果的な活用例を示していきながら、ネットワークの利用者を増やし、校務の効率を上げていくように努めていきたい。

#### 4. 学校ホームページの開設

従前も本校には学校ホームページがあり、子どもたちの様子がたくさん伝えられていた。しかし、一年ほど前より更新がとまって平成18年度に入っていた。また、町から市に変わったことにより、ホームページのアドレスも変わり、その新ページのアドレス、FTPアカウント、パスワードなども知らされていなかった。そのようなこともあって、年度前半は、手のつけない状態のままであった。

私は、ホームページも直接の担当であったことから、準備ができた時にすぐにアップすることができるように、私のハードデ



イスクの中で、作り続けていた。

私のホームページに対するポリシーは、見る方がアクセスしていただく度に、新しい情報が掲載されていることである。

ホームページは、私の考えているように常に更新していくタイプと、いつ見ても言っている情報のみがのっているタイプがある。ホームページ作成の担当者の負担を考えると、簡単にそれらに優劣をつけることができないが、私は、常に更新するホームページの管理者でありたいと思っている。私にとっては、一昨年の方がそのまま載っているホームページがあるとすればむしろ消去の方がいいのではないかと思っている。

下図が、本校のホームページのトップ画面である。ささやかな担当者のポリシーの表現として、トップページの校舎の写真と

給食の写真を毎日更新している。その他に行事として次のものについて写真を掲載し、内容を紹介している。

- 4月  
入学式 昼休みの様子 中休みの様子  
授業参観 P T A総会 街頭指導  
休み時間の校長室 児童集会(認証式)  
学校教育の進め方説明会  
5月手作り風車授業 自転車技能試験  
中休みのT Tルーム
- 5月  
昼休み2 昼休み3 昼休み4 読み聞かせ  
児童総会 避難訓練 一年生を迎える会  
春の遠足
- 6月  
運動会 読み聞かせの会 畑に苗植え  
街頭指導 1年生給食の様子  
1年生粘土工作 読み聞かせ  
1年生校庭にチョークの芸術  
クリーン作戦 児童集会  
1年生給食試食会 ミニバレー練習

<http://www.city.hokuto.hokkaido.jp/school/ono-syo/>

7月  
 市P連交流ミニバレー大会  
 5年宿泊研修 フットベースボール大会  
 交通安全教室2年 交通安全教室5年  
 写生会5年 2年海浜学習 高学年参観日  
 交通安全教室4年 学級レク5の1  
 全道陸上出発 学級レク5の2 児童集会  
 第1学期終業式 学級レク3の3

8月  
 学級園の様子 第2学期始業式  
 クリーン作戦 教育実習開始  
 自由研究発表会 夏休み作品展開始  
 1年写生会 芋ほり2年

9月  
 芸術鑑賞会 ふれあいフェスティバル  
 現職研修 避難訓練 ふれあい集会  
 秋の遠足 6年社会科見学  
 1年アサガオ観察 クラブ 立会演説会  
 地域参観日 P T A 研修旅行  
 教育実習生離任式 児童集会 2年校外学習  
 4年理科実験

10月  
 街頭指導 三浦先生着任式 児童集会任命式  
 水の流れの実験5年 学習発表会総練習  
 写生会作品展(～27日) 学習発表会  
 移動作品展(24日まで)街頭指導2  
 総合的な学習の発表会3年 読み聞かせ会  
 校内研(6の2) 記念植樹 渡P連研究大会  
 児童総会 紅葉の大野小

11月  
 街頭指導 2年さけ見学  
 中学年総合的な学習発表会 北斗市民文化祭  
 3年社会科見学 読み聞かせの会  
 図書ボランティア開始 児童集会  
 租税推進校表彰 朝読書(～17日)  
 第1回少年少女ドッチボール大会  
 学年読み聞かせ

12月  
 街頭指導 授業参観(高)  
 赤い羽根募金開始 校内研修  
 3の1情報教育 5の1学級レク  
 街頭指導 読み聞かせ  
 3年生ミニ音楽発表会 第2学期終業式

1月  
 着任式 始業式 街頭指導  
 冬休み作品展(～26日)  
 自由研究発表会5年 自由研究発表会2年  
 冬の遠足(3,4年) 自由研究発表会6年  
 冬の遠足(5,6年) アイディア貯金箱表彰  
 児童集会

2月  
 街頭指導 新一年一日入学  
 (2月6日現在)

地域に根ざした学校、地域から信頼される学校づくりには、学校のことを知ってもらおうということも非常に大切である。そのような意味できめ細かく子どもたちの活動の様子を伝えていくことをこれからも大切にしていきたい。

### ・ホームページと子どもたちの写真について

ホームページを作成するにあたって、決めておかなければならないルールもある。明確なガイドラインも整備していかなければならないが、当面のルールとして次のようなことを掲げた。

児童の氏名は一切出さない。

内容の更新にあたっては、担当者の目を通し、校長決裁を受けた上に、アップする。

個人が特定される写真については、全て解像度を落とし、第三者に個人が特定されないようにする。

の写真については、昨今のインターネットに関わる事件・事故も発生していることから、予め全世帯に案内を出して、顔写真掲載の可否を問うてみた。(次ページ案内)その結果、児童数およそ500名の本校で、100名近い児童の保護者が、インターネット上に子どもの写真を掲載することを希望しないという結果が出た。

私の当初の予定では、数名程度であれば、それらの子の写真をうまくトリミングしたり、カットしたりしながら作業を進めることができるかなあと思ったが、これだけの人数になれば、そのようなこともできず、結局のところ、全ての児童の写真の解像度を落として、ページを作っていくことにした。

平成 18 年 12 月 14 日

保護者の皆様へ

北斗市立大野小学校  
校長

## 学校ホームページの運用開始に先立つ確認について

朝夕の冷え込みも厳しくなりましたが、保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本校教育の推進に対しまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年度末より休止しておりました大野小学校のホームページですが、この度運用できる準備がほぼ整いました。地域に開かれ信頼される学校づくりの一環として、子どもたちの学習や生活の様子をできるだけ細かくお知らせしていきたいと思っております。そのため、子どもたちの生き生きとした活動を伝えるため、子どもたちの写真も掲載しております。

一方、個人情報の意識も高まっていることや、あってはならないことではありますが、子どもの写真を無断で他のサイトに貼り付けるなどの事件が発生していることから、お子さんの写真がインターネットに掲載することを望まないご家庭におきましては、そのことを配慮し、削除した上で公開していくことといたします。

つきましては、「お子さんの写真を学校のホームページに載せてほしくない。」というご家庭におきましては、下記の用紙を学校まで提出いただきますようお願い申し上げます。整備の上、ホームページを近日中に公開いたします。

-----  
子どもの写真をホームページに載せないことを希望します。

保護者氏名 \_\_\_\_\_

児童 ( ) 年 ( ) 組 氏名 \_\_\_\_\_

児童 ( ) 年 ( ) 組 氏名 \_\_\_\_\_

児童 ( ) 年 ( ) 組 氏名 \_\_\_\_\_

12 月 18 日(月)までに学級担任にご提出下さい。



## 5. ウィルス対策

以前にネットワークの再構築のところでも述べたが、夏休みに回線の切り替えを行うに当たって、ネットワークに参加する全てのコンピュータにウィルス対策を自主的にしてもらおうという申し合わせを共通理解することができた。

本来、公務で使う必須アイテムになったパソコンは、公用のパソコンが与えられてしかるべきであろう。現に全ての教職員にノートパソコンが支給されている地方自治体もある。また、国より一人一台のパソコンが当たる地方交付税も交付されているという。地方交付税は、用途が限定されていないこともあり、教職員にパソコンが当たる話は聞いたことがない。

それにもかかわらず、更にネットワークにつなぐのであれば、個人負担でウィルス対策ソフトを必ず入れてくださいというお願いをしたわけで、賛同を得るのに苦労したこともうなずけるであろう。

私はまず、コンピュータウィルスとはどんなものかを説明した。確率論で言えばインターネットにつないでいないパソコンの場合は、感染するのは希であろう。しかし、多くの先生方のパソコンは、私物である以上、学校でも家でも使っている。多くのパソコンは、家ではインターネットに接続されている。コンピュータウィルスに感染して一番怖いのは、学校現場の場合、内部データの流出である。コンピュータウィルスは当然ながら、感染すると発症（何なかの不具合やデータの破損）し、伝染する。つまり、ネットワークでパソコンがつながっていると、他のパソコンへもネットワークを通してウィルスが伝染する可能性がある

ということである。最悪の場合、先生方のパソコンのデータが、家に持ち帰った先生のパソコンからインターネット回線を通して、ネット上に流出するということである。

実際、私は校内ネットワークを通して感染が職員室内に広まった事例を扱ってきた。それが、外部へデータが流出されるという最悪の事態は免れたものの、多くのデータを消去せざるを得なかったという被害を目の前にしている。

インターネットにつないでいないと大丈夫、怪しいメールを開かないと大丈夫、など確かに一理ある対処方法であるが、いずれも完璧といえない。ウィルス対策ソフトを入れても全く0というかと言えば、言い切れないところもあるが、限りなくウィルス感染の確率は低くなる。

コンピュータをインターネットに接続する場合、そしてLANに接続する場合は、ウィルス対策ソフトを入れるというのが、今やコンピュータを扱うもののマナーであり常識であることを訴え、先生方の協力を得ることができた。

## 6. 個人情報等のセキュリティーの向上

本校には、コンピュータに詳しい先生方もいる。また、使うだけという先生もいる。また、コンピュータにほとんど触れることのない先生もいる。

そのような中、全ての先生にわかりやすく情報提供をするのはなかなか難しい。ちょっとしたコンピュータ用語を並べただけで、「よくわからな—い。」という声ももつともである。

情報教育推進委員会として、先生方に、個人情報の入ったもの、特にファイルにつ

## データのセキュリティを向上するために (ファイルへのパスワードをかける)

過日の提案で、電子データのセキュリティについて触れた。先生方のパソコンには、個人情報が含まれるのも多く、責任を持って管理していかなければならない。

今回は簡単にできる一つのセキュリティを高める方法として、ファイルにパスワードをかける方法を紹介する。

ファイルを開こうとする時にパスワードが求められるわけであり、パスワードがわからないと中身を見ることができない。万が一データの入ったメモリスティックを紛失したとしても、開かれる可能性は非常に低い。

エクセルの場合で説明する。

### ・パスワードをかける場合

ファイルを保存する前に、「ツール」、「オプション」、「セキュリティ」と開き、任意の読み取り専用パスワードを入れる。パスワードは全て「\*\*\*\*\*」で表示される。(図 1、図 2)

確認の窓が現れるので、もう一度パスワードを入れる。(図 3)

保存する。

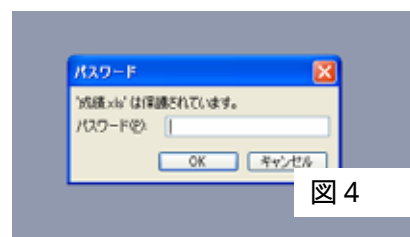
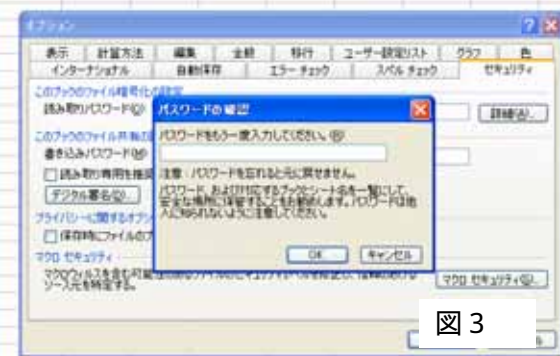
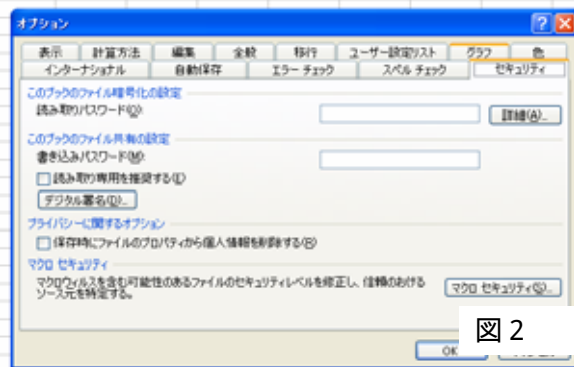
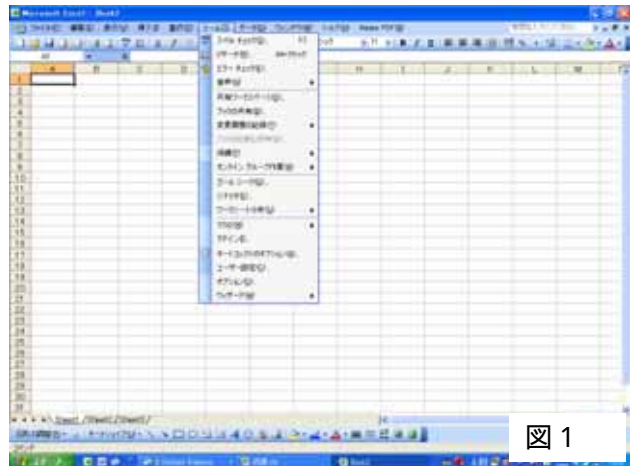
### ・ファイルを開く場合

通常通り、目的のファイルを開く

パスワードが求められるので入れる。(図 4)

ワードも同様の方法でできる。一太郎については、「ファイル」、「セキュリティ」と進めるとほぼエクセルと同じ内容で対処することができる。

ご質問は、佐々木まで。



いて、お願いをした。昨今の新聞で「駐車してちょっと離れた際にパソコン盗難」、「データのいったメモリーを紛失」などの新聞記事を見かける。パソコンが盗まれると、かわいそうどころか、中に個人情報のファイルが入っていたりすると、処分の対象にさえなってしまう時代である。

そのため、係としては、まず、どうしても入れて持ち運ばなければならないデータ以外は、パソコンに入れて持ちあるかない方がいいことを提案した。その代わりに、ファイルサーバーを用意し、そこで、バックアップも含めてファイルを管理するシステムにした。

さらに、学期末の成績処理など、教員においては、家に持ち帰り業務を行うことも日常茶飯事でもある。そのため、データを持ち出す時は、パスワードをかけて、例えば第三者に渡ってしまったとしても、それを見ることができない工夫をすることが大切であることを訴えた。

先生方に提案したのは、マイクロソフトのエクセルの場合だが、ほとんどの個人情報エクセルに入っているだろうし、ワードにしても一太郎にしても同じような機能はついている。

次にお願いしたのは記録メディアである。フロッピーディスク、最近ではメモリースティックが主流となっているが、それらに大切なデータを入れていつでも持ち歩いている場合が多い。特にメモリースティックは、ここ数年ですっかり市民権を得て、パソコンユーザーなら誰しももっているグッズである。学校と家にパソコンがある場合、データは、このメモリースティックによって運ばれることになる。そこに毎日莫大なデータが入っていたらと考えると恐ろしくなる。やはり、これらは一時的なデータ保管場所で、コンピュータ内、もしくはしばらく使わないものであれば、CDなどの外

部記憶メディアに移しておくべきものと考ええる。また、自分の経験であるがメモリースティックは、壊れやすいものであると考えた方がいいのではないかと思う。ですから大切なデータの保管場所にするようなことは避けていただきたいとお願いしている。

情報推進委員会として、また、個人としても、データ管理については、日頃からお願している。自分自身のパソコンにも、子どもの成績関係こそおいていないが、どこへ行っても仕事ができるだけのデータは入っている。私は、ちょっとコンビニに入る時も、ノートパソコンだけは、必ず持ち歩くようにしている。また、成績を個人パソコンに置かない、データにパスワードをかけるなども、すぐには全ての先生が理解してもらおうというのも無理であろう。時間をかけて、折に触れて、そんな話をしながら、データ保管の大切さを訴えていきたいと思っている。

## 7. 機器のメンテナンス・修繕

大野小学校にはパソコン室に40台、図書室に2台、また、事務用、教頭用、先生方用などのパソコンが配置されている。さらに、多くの先生方のパソコンが職員室の机の上にある。

これだけマシンがあると、トラブルの発生も頻繁に起きる。コンピュータ室を例にとると、ハードディスクキーパーというものが入っており、いくら文書を保存しても、新しいプログラムを入れても、デスクトップを変えても、次に電源を入れる時にはきれいに初期画面に戻るシステムになっている。このシステムはいい面も悪い面もあるが、異常終了をすると、次回からも正常な立ち上がりができなくなり、一度ハードディスクキーパーを解除して設定をし直さなければならない。6年生が1クラス41名在籍している今年度は、一台のマシンダウン

も授業に影響してくる。必要とあれば、その場でメインテナンスすることもしばしばである。

職員室のプリンタのトラブル、ワード、エクセルの相談、パソコンの購入、いろいろあるが、一つ一つ丁寧に対応するように心がけている。

どこまでが情報教育推進委員会の業務で、どこまでが個人的なサービスかの線引きをすることは難しいが、個人的サービスとしても、教育の情報化を推進する先駆者の一人として、「ITは難しくない、ITを使うと便利である。ITはおもしろい。」そんなことを広めていきたいと思う。

#### 8. 児童への情報教育の指導

私は大野小学校では、5, 6年の理科専科である。理科の授業は、実験や観察が多く、それなりに準備には時間がかかる。それでも学級担任の先生に比べると、時間的な余裕はある。



私は、情報教育に関して、最初は理科の時間に、調べ学習の一環としてインターネットでの検索と、ワードを使ってレポートを作ることを指導した。

次の段階として、情報モラルということで、修士論文で扱った個人情報保護について、5年生と6年生に指導した。

さらに、高学年に対して総合的な学習の時間として、電子メールの使い方、タッチ

タイプを指導した。

そこまで来たら全学年にコンピュータを使わせたいという願いで、情報教育推進委員会で、全学年の情報教育の実践を提案し、学級担任の先生とのチームティーチングで、指導を進め、現在3年生まで、実践することができた。



あと期間は限られているが、2年生と1年生も指導する計画が決まっている。

内容は、4年生以上には必ずタッチタイプの練習をさせた。授業のはじめの15分位は集中して毎回させた。キーボード入力においては、いろいろな考え方があるが、私はローマ字を学習した4年生から、ローマ字打ちで指導することが好ましいと思っている。それ以下の学年においては、ソフトウェアキーボードを利用し、キーボードからカナ打ちさせることは、ローマ字への移行時にかえって障害になると考える。また、カナ打ちかローマ字打ちかという論議もあるが、扱うキーの数、指の動く距離を考えると、子どもたちに是非マスターしてほしいブラインドタッチをめざすなら、最初からローマ字打ちを推奨していきたい。

高学年では、レポートなどのまとめとして、ワードを利用させている。今後汎用性があることを考えてのことである。ワードアート、テキストボックス、図の挿入、フォントの変更などを指導すると子どもたちは、時には新たな機能を発見しながら、ま



とめを作れるものである。最初の段階は「パソコンを使って作った」でいいかもしれないが、慣れてくるにつれて、内容も重視していく指導をしている。

また、電子メールの指導も行った。コンピュータ室内だけのメールサーバーを先生機に立てて、コンピュータの番号をメールアドレスにして、メール交換をした。キーボードがおぼつかない児童もいるのでソフトウェアキーボードも活用して指導した。電子メールは、友だちとのコミュニケーションの手段として非常に有効である。その一方、相手を傷つけるメール、不要なメールの斉送信など、モラル指導も必要となってくる。授業では、電子メールを書くときの基本操作に加え、ルールについても、指導した。



中学年の導入はペイントから入った。以前の学習指導要領が改訂になり、初めて情報基礎を中学生に指導する時もやはりペイントから入ったことが懐かしい。ペイントはマウス操作の基本が詰まっている。クリック、右クリック、ドラッグである。フリーハンドで線を描く、名前を書く、まるや四角を書く、色や線の太さを変える、スタンプを押す、などの基本操作を指導して、「私の宝物」という課題で子どもたちに自由に絵を描かせた。子どもたちの楽しそうさは表情を見ていると、こちらまで幸せになる気分である。



それぞれの学校にコンピュータの得意な先生、そうでない先生はいると思う。一人一人の先生がコンピュータを使った授業をしていく力をつけていくことは言うまでもなく大切なことである。しかし、現実問題そう簡単にはいかない。学校全体の情報教育を推進していくためには、時には授業を交換したり、合同体育などをしながら、得意な先生が中心になって指導を進めることも一つの方策として挑戦してほしいと思う。

## 9. 最後に

本校に赴任してもうすぐ1年がたつが、このほかにも、いろんなことを実践してきた。また、全体の中での話し合いでも、時期尚早と共通理解にいたらなかった提案も数多い。そんな中でも、大野小学校の子どもたちの力は確実に付いていると思うし、職員室の情報化についても、幾分進展があるように思う。

今後も自校において、また、研究会の一員として、実践を通して、渡島の教育の情報化、情報教育の推進に力をいれていきたい。